

第54期 中間株主通信

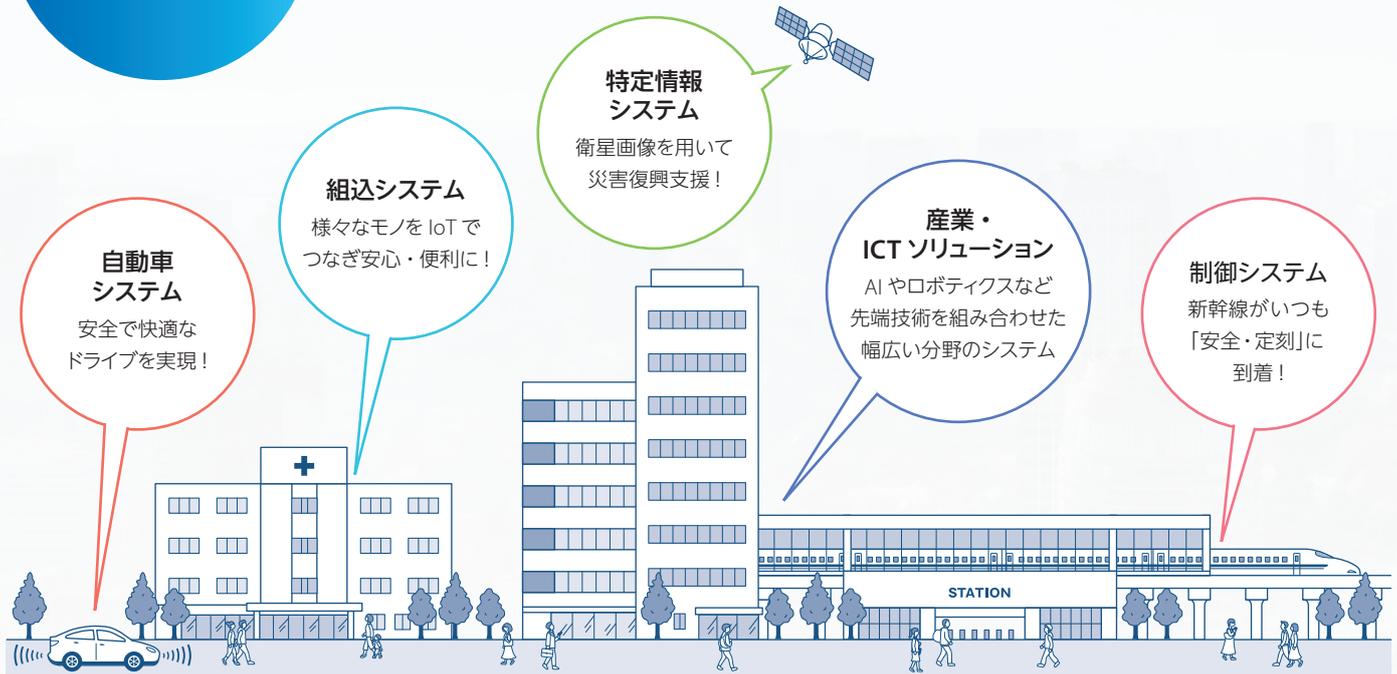
2020年6月1日～2020年11月30日

 **日本プロセス株式会社**
JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO.,LTD.

例えば
**こんな
ところに!**

日本プロセスの人と技術で支える“安全・安心、快適・便利な生活”

当社は創業以来、高度な品質と信頼性を要求される制御／組込システム開発を主力事業とし、「品質第一」に実績を積んでまいりました。この長年にわたり培ったノウハウを活かし、お客様企業に最適なベネフィットが提供できる「トータル・ソフトウェア・エンジニアリング・サービス」を構築することで、社会の“安全・安心、快適・便利な生活”を支えてまいります。

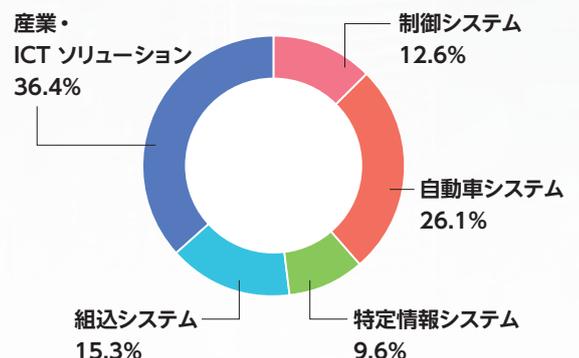


2021年5月期第2四半期 各セグメントの状況

(百万円)

セグメント	売上高 (前年同期比)	利益 (前年同期比)
制御システム	422 (△23.3%)	108 (△13.5%)
自動車システム	877 (△9.5%)	237 (△1.6%)
特定情報システム	320 (+1.2%)	84 (+39.0%)
組込システム	513 (+0.2%)	115 (△7.3%)
産業・ICTソリューション	1,223 (△7.5%)	235 (△10.9%)

2021年5月期第2四半期 売上高構成比



トップメッセージ



ソフトウェアで社会インフラ分野の安全・安心、快適・便利に貢献してまいります

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症拡大の一日も早い収束と、皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。

それではここに2021年5月期第2四半期における事業概況についてご報告いたします。

代表取締役社長 **上石芳昭**

新型コロナウイルス感染症による影響は軽微／売上利益は計画を上回り推移

当社が属する情報サービス産業では、新型コロナウイルス感染症拡大による先行き不透明感からIT投資に慎重姿勢は見られるものの、デジタルトランスフォーメーション(DX)によるICTを活用した新たなビジネスモデルの創造や変革へのニーズは一貫して高まっています。

こうした環境の中、当社では、第5次中期経営計画の最終年度にあたる当第2四半期において、自動運転/先進運転支援関連の主力事業化を進めながら、建設機械や医療関連のIoT分野については継続して事業拡大を図ってきました。またDXの急速な進展をうけ、よりトータルなシステムエンジニアリングサービスの提供を目的として産業・公共システムとITサービスを統合し、システム開発技術とクラウドシステム構築技術をベースとした、新分野の一層の開拓に努めました。

これらの結果、新型コロナウイルス感染症による業績への影響は軽微であったこともあり、連結売上高は対計画比3.0%増、営業利益は同12.9%増、経常利益は同10.3%増と、売上・利益ともに当初計画を上回ることができました。

新様式・ニューノーマルが求められる時代の中で日本プロセスの真価を発揮していく

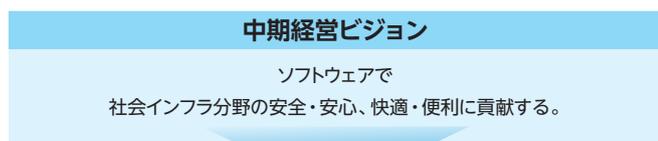
当社にとって今期(2021年5月期)は、現在展開中の第5次中計の総仕上げと次期中計の構想着手、という重要な一年となります。

現中計においては、新型コロナウイルス感染症拡大という予期せぬ事象はあったものの、初年度・中間年度ともに連結売上高は計画を上回るレベルで推移しています。そして、今後も取り巻く環境は不透明な状況が予想されますが、社会経済活動全体で新しい様式やニューノーマルが求められる今、ソフトウェアで社会インフラ分野の安全・安心、快適・便利なくらしに貢献し続けてきた、当社の真価がさらに発揮される時代であると捉えています。これからも変わることなく、ICTを活用した新しい価値創造で顧客とともに社会に貢献してまいります。

最後になりましたが、株主の皆様への利益還元につきまして、当中間期における1株当たり中間配当金は、前年中間配当と同額の13円とさせていただきます。

今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

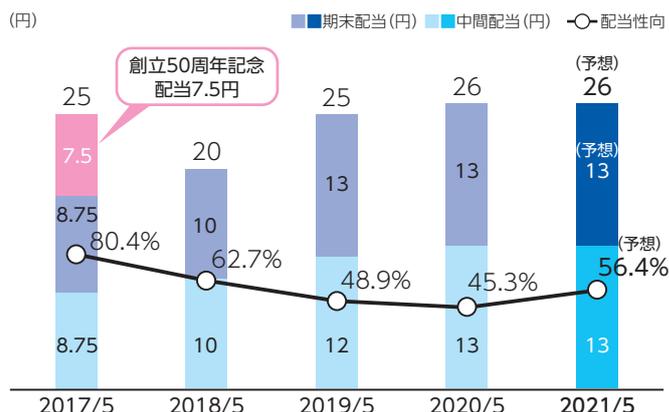
第5次中期経営計画の基本方針



第5次中期経営計画 基本方針(2019年5月期～2021年5月期)

- 獲得事業の主力化と新分野の開拓
 - ①自動運転/ADAS、IoTを主力事業へ
 - ②AI、ネットワーク、セキュリティ、クラウド等で、更なる注力分野を開拓
- 持続的成長への投資
- T-SES(トータル・ソフトウェア・エンジニアリング・サービス)の継続

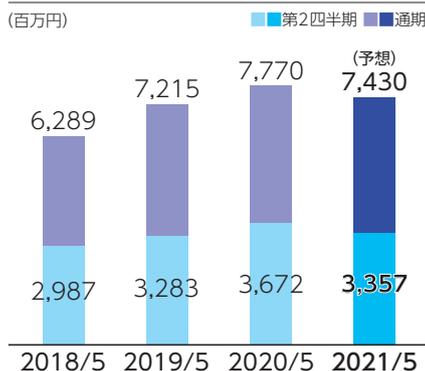
株主配当の推移



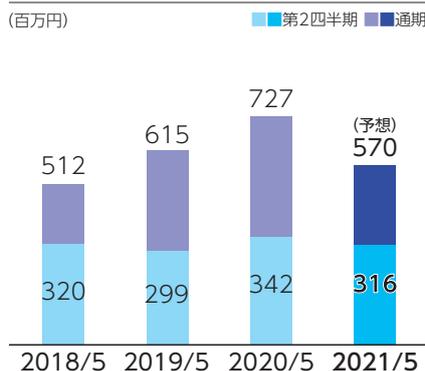
決算ハイライト

- 減収減益となるも、新型コロナウイルス感染症による業績への影響は当初予想より軽微
- 対計画比では連結売上高3.0%増、営業利益13.1%増、経常利益10.6%増、四半期純利益12.1%増
- 自動運転/先進運転支援関連は旺盛な需要が継続し、映像監視関連も好調に推移

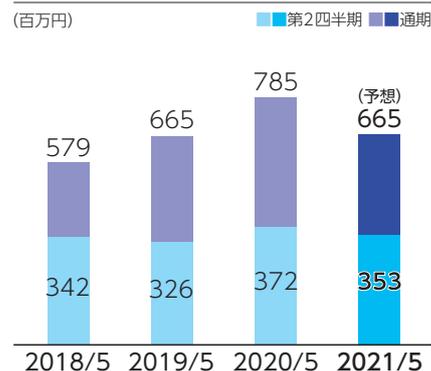
売上高



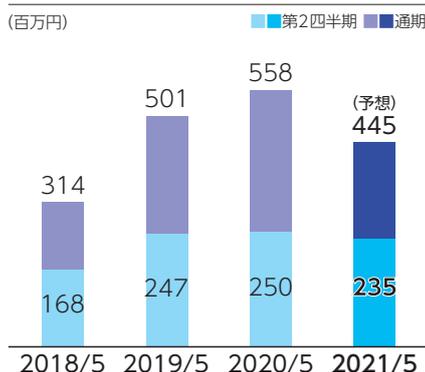
営業利益



経常利益



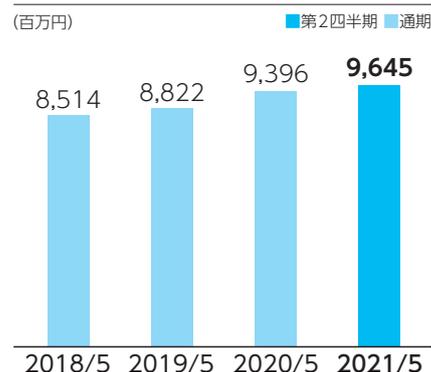
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



総資産



純資産



日本プロセスの SUSTAINABILITY PROCESS

持続的な成長に向けた働き方改革とさらなる挑戦

当社は、持続的な成長への取組みとして働き方改革を実施しております。もともと企業文化として上下左右に壁が無く誰とでも気軽に話せることから、従業員から「～したい」という意見が多く、会社としてもそれらを的確に捉えて、フレックス勤務、時短勤務や在宅勤務などの制度、ビデオ会議やチャット等の社内システムの整備を進めて、多様な働き方に対応してまいりました。また大規模案件への対応を見据えたプロジェクト管理能力の向上や次世代汎用技術の獲得、持ち帰り案件の増加に見据えた事業所の移転・拡張も進めてまいりました。

2020年4月の緊急事態宣言の発令を受け、当社は従業員や関係する方々の安全を第一に考え、在宅勤務を主体に切り換えました。今後も社会全体で新しい働き方への挑戦が続きますが、「安全を第一に」のもと、新しい働き方へ挑戦してまいります。



会社概要・株式の状況・株主メモ (2020年11月30日現在)

会社概要

会社名	日本プロセス株式会社 (JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO.,LTD.) 略称 JPD
本店	〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番1号 ゲートシティ大崎ウエストタワー22F TEL 03-4531-2111(代表) FAX 03-4531-2110 URL https://www.jpdc.co.jp/
設立	昭和42年(1967年)6月
事業内容	システム・インテグレーション及びソフトウェア開発
資本金	14億8,740万円
従業員(単体)	543名
取引銀行	三井住友銀行、三菱UFJ銀行、みずほ銀行

株式の状況

発行可能株式総数	42,580,000株
発行済株式の総数	9,676,515株(自己株式968,505株を除く)
株主数	2,068名
大株主	

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
大部 満里子	1,248,940	12.91
大部 仁	1,107,837	11.45
大部 力	1,090,188	11.27
日本プロセス 社員持株会	731,900	7.56
アドソル日進株式会社	622,000	6.43
吉川 裕彦	504,022	5.21
第一生命保険株式会社	334,400	3.46
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	236,600	2.45
白川 一幸	200,000	2.07
GOLDMAN SACHS BANK EUROPE SE	150,620	1.56

(注)持株比率は自己株式(968,505株)を控除して計算しております。

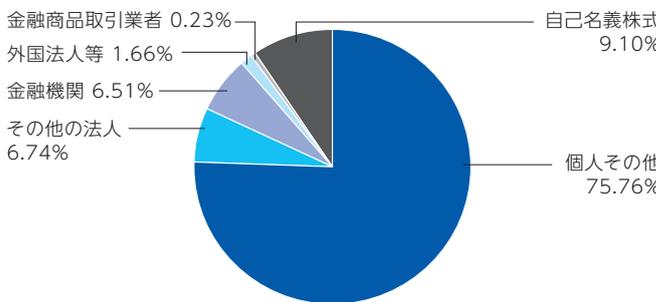
株主メモ

事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日まで
定時株主総会	毎年8月開催
基準日	定時株主総会 毎年 5月31日 期末配当 毎年 5月31日 中間配当 毎年 11月30日
株主名簿管理人 及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵送物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031

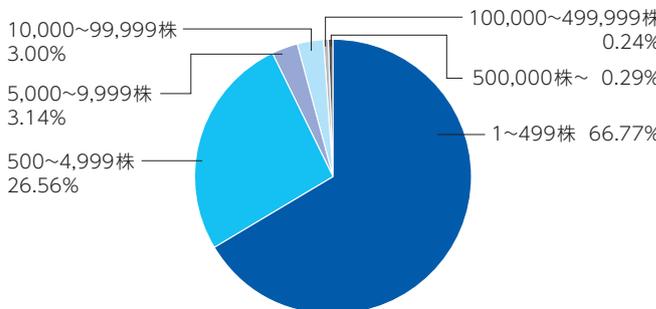
役員

代表取締役会長	大部 仁
代表取締役社長	上石 芳昭
常務取締役	多田 俊郎
取締役	東 智
取締役	松岡 仁
取締役	坂巻 詳浩
取締役	名古屋 敦
取締役(社外)	諸星 信也
取締役(社外)	一瀬 益夫
常勤監査役	川島 匡博
監査役(社外)	椎名 健二
監査役(社外)	上園 朗

所有者別株式分布状況



所有株数別株式分布状況



(インターネットホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告方法	当社のホームページに掲載 https://www.jpdc.co.jp/koukoku.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)
貸借対照表及び 損益計算書の掲載URL	https://www.jpdc.co.jp/ir/
上場金融商品取引所	株式会社東京証券取引所 JASDAQ市場



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

